

令和4年11月20日執行

南相馬市議会議員 一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

市民が幸せになる南相馬市を目指し、現状では、人口減少と少子高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症拡大で市民の元気と活力が衰えています。次の世代に豊かな豊かさを残すために!!

- 1 農水産業支援と経済活力の振興に努めます
 - 希望ある農業経営者の確保と後継者支援の強化
 - 地域実情にあった農業の推進でブランド化を推進します
 - 将来を見据えた水産資源・漁業基盤の整備を推進
- 2 企業を元気に夢を持って働ける職場づくりを目指します
 - 地域を支える地元企業・小規模事業者を支援
 - 未来エネルギー基地・研究機関としての特色ある企業誘致計画
 - 産学官共同で先端産業と地産地消を推進
- 3 医療・福祉の充実した健康なまちづくりを目指します
 - 無料PCR検査実施で市民への活動支援を推進
 - 高齢化対策に取り組み、安心して暮らしが送れるよう努めます
 - 医師確保及び医療の地域連携を推進します
- 4 子育て支援と教育に力を入れて子どもたちの安全を目指します
 - 子どもたちの育ちを支援し、育ち向上に努めます
 - 子どもたちのやる気を引き出し、親御さんと子どもたちの関係強化に努めます
 - さまざまな環境整備による子育ての不安の解消に努めます
- 5 将来を担う人材の育成に努めます
 - 学力やコミュニケーション力など多様な人材を育成
 - 学校教育と社会教育との連携により、人間力や学習向上に努めます
 - 産学協働による特色ある人材育成と技術・研究の推進
- 6 福祉とスポーツの充実で、健康で暮らせるまちに
 - スポーツや体健など健康寿命増進運動を推進
 - 予防医療と健康づくりのため、スポーツ施設の充実を目指します
 - 障がい者の人間関係と社会参加を促し、福祉の充実を図ります

精一杯頑張りますので、御指導、御支援を宜しくお願い申し上げます。

安心できる南相馬市に生まれ育った郷土のために



たけの みつお 竹野 光雄 (62歳)

- 私のあゆみ
- ★昭和34年3月 南相馬市立小高区浦尻小学校 卒業
 - ★昭和35年3月 南相馬市立小高区浦尻中学校 卒業
 - ★平成11年2月 小高区立南相馬高等学校 卒業
 - ★平成18年11月 南相馬市議会議員 初当選
 - ★平成30年11月 南相馬市議会議員 再選
 - ★令和3年11月 南相馬市議会議員 再選
- 南相馬市小高区浦尻字原田2 (62歳)
- 南相馬市議会議員 文庫福祉常任委員会 委員長
南相馬市議会議員 文庫福祉常任委員会 委員

次の時代に新たな決意 今こそ、南相馬のために ふるさとを元気にする7つの政策

- 1 農業、漁業の再生
- 2 生活基盤の地域間格差を解消 環境問題を積極的に
- 3 企業を元気に、夢を持って働ける場を
- 4 子どもを育てやすく 高齢者を大事にする社会へ
- 5 将来を担う人材の育成を
- 6 誰もが健康で暮らせるまちに
- 7 新たな視点でにぎわいのある地域づくり

豊かな生活環境のまちづくり 全力でがんばります

鈴木 すすき さだまさ (67歳)

南相馬市議会議員 文庫福祉常任委員会 委員

誰もが「幸福」を実感できる、「夢」と「希望」の南相馬市を!

- ★誰もが幸福を実感できる南相馬市を!
 - 市民の生活の質を向上させるため、生活環境の整備を推進
 - 子育て支援と教育に力を入れて子どもたちの安全を確保
 - 企業を元気に夢を持って働ける職場づくりを推進
 - 医療・福祉の充実した健康なまちづくりを推進
 - 農水産業支援と経済活力の振興に努める
- ★子育て支援と教育に力を入れて子どもたちの安全を確保
 - 子どもたちの育ちを支援し、育ち向上に努めます
 - 子どもたちのやる気を引き出し、親御さんと子どもたちの関係強化に努めます
 - さまざまな環境整備による子育ての不安の解消に努めます
- ★企業を元気に夢を持って働ける職場づくりを推進
 - 地域を支える地元企業・小規模事業者を支援
 - 未来エネルギー基地・研究機関としての特色ある企業誘致計画
 - 産学官共同で先端産業と地産地消を推進
- ★医療・福祉の充実した健康なまちづくりを推進
 - 無料PCR検査実施で市民への活動支援を推進
 - 高齢化対策に取り組み、安心して暮らしが送れるよう努めます
 - 医師確保及び医療の地域連携を推進します
- ★農水産業支援と経済活力の振興に努めます
 - 希望ある農業経営者の確保と後継者支援の強化
 - 地域実情にあった農業の推進でブランド化を推進します
 - 将来を見据えた水産資源・漁業基盤の整備を推進



おがわ しゅういち 小川 尚一 (67歳)

地域医療に関して実現を目指す3つの政策

- 1 安定かつ持続可能な二次救急 医療体制の構築 実現を
- 2 安心して子どもを産み育てることが出来る地域に
- 3 在宅医療の推進

寛容な社会の実現を

鈴木 すすき 昌一 (67歳)

南相馬市議会議員 文庫福祉常任委員会 委員

未来を担う子供たちが 安心・安全に暮らせる 南相馬市を!

- 未来ある子供達の「住みよい街」 福祉立市宣言
- 子どもの笑顔の絶えない街づくりを目指す為に、子ども達が楽しく、元気に安心して遊べる場所を整備していく
 - 待機児童の解消したものの中途入園待機の解消を進める
 - 医療や介護、福祉に必要なロボットや機械の集積地とするべく、工業ロボット先進地を目指す。それにより、日本中のこれからの超高齢化社会を南相馬市から支えていく
 - 介護施設の整備及び人材確保、外国人介護士の育成
 - 農業および農地の再生
 - 農業なくして南相馬の再生は考えられず、必ず農地の再生と新たな農業特産物を創る
 - 出荷設備の再整備と新たな農産物の創出



なか がわ ごういち 中川 庄一 (67歳)

つなげよう! 愛するまち ~子どもたちが、すべてのひとが安心して暮らせる「まち」をめざして~

太田じゅんいち 52才

- 超少子化により、南相馬市を含め日本の人口が減少しています 人口減少社会を受け止め、将来の「みなみそうま」を考えなければなりません
- 物価高騰の影響を受けるすべての市民に対する支援
 - 市民の教員配置や幼土を育む教育など、小・中学校での自分で考える「力」の育成や、基礎学力の向上に対するさまざまな教育施策
 - 小児科等の専門医の確保など、すべての市民が安心して暮らせる医療体制の整備
 - 市内で働くひとの確保など、人材不足の解消と地元企業への支援
 - 市内公共施設の統廃合を含めた見直しなど、メリハリのきいたインフラの整備
 - 「みなみ」の充実など、このまちに住み続ける人が安心して暮らせる環境の整備
- 生まれ育ち、先祖から預かった自然豊かな「みなみそうま」 若い力と先輩たちの知恵を集結し、次世代に「つなげよう」



略歴
昭和42年3月8日、田原町生まれ
高校卒業後、右衛門町立南相馬高等学校卒業
南相馬高等学校卒業
拓殖大学経済学部経済学科卒業
大学卒業後、東京、埼玉、いわきでサラリーマンとして約13年間働く
南相馬市議会議員 初当選(平成16年)

現在
南相馬市議会議員(4期)
文庫福祉常任委員会 委員長
議会改革特別委員会 副委員長
南相馬市立南相馬図書館 館長
拓殖大学男女学生協会の理事 議員
南相馬市議会議員 初当選(平成16年)

消防団原町区団第1分団 団長

市民の命とくらしを守り 苦難軽減に全力を尽くします

- 国・東電にハッキリものを言います。市民の声を市政に届け、報告します。
- 汚染水の海洋放出の止むべきの海洋放出の廃止を求め、原発の廃止作業に全力を
 - 原発の再稼働・新規増設を許しません。被災者本意の復興を求め、戻った人も戻らない人も、寄り添う市政にしたいと考えています
 - 小高病院に入院できる環境を整えます
 - コロナ対策の強化を推進し、完全終息まで油断なく徹底し、市民の命とくらしを守ります
 - 避難している市民への支援を継続します
 - インスリン等の島嶼対策や、住宅地や農地、宅地対策を進めます
- 【事務所】南相馬市小高区上町1丁目2-9
【自宅】南相馬市小高区目台字小泉2-3 電話090-2993-1471



わたべ かんいち 渡部 かんいち (74歳)

このちと暮らしを第一に!!

南相馬市議会、新人候補の表 信司です。私は、一市民としての活動力、誰かも安心・安全で充実した暮らしができる街づくりを目指し、市民の皆さんの声を市政に届けるために活動して参ります。

プロフィール
生 年 (おとこ) 1971年(昭和46年) 9月6日(44歳)
学 歴 小高区立小高中学校 卒業
平成10年 福島県立東海高等学校 卒業
平成11年 東海大学経済学部卒業

安心・安全
● 地域医療、福祉制度等の推進
● 防災・減災対策の促進
● アフターコロナ・ウイルス対策の推進
● 空家・空き地の活用
● 各種セーフティネットの強化

生活
● 農水産業の振興
● 子どものための子育て支援
● ロボットなどの新産業による雇用
● 子育て支援による少子高齢化対策
● 公共サービスの充実
● 公共交通安全の確保
● 地域活性化を推進し、観光資源を活用した交流人口の拡大

未来
● 次世代を担う人材の育成
● 未来に向けたデジタル化の推進
● 誰もが健康で暮らせるまちに
● 子どもたちが安心して暮らせる環境の整備
● ICTの活用やデジタル化の推進



nozaki shinsuke 表 信司 (44歳)

令和4年11月20日執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会


これまで経験と人脈をフルに活かし、市民の皆様とどこまでも寄り添い続け、変化する東・南相馬の発展に全力で取り組んで参ります。皆様のご意見ご要望の程何卒よろしくお申し付けます。

志賀としむねの公約

1. 地域産業の育成と企業誘致で魅力的な南相馬市を作ります。
2. 南相馬の未来を創る「子育て」「教育」の徹底した人的・環境整備を推進します。
3. 「健康・医療」「福祉」「介護」の市民サービス充実のため、さらなる人的・物的整備を推進します。
4. 地震・風水害対策を強化し、災害に強いまちづくりを推進します。
5. 誰もが誇れると居場所があり、生きがいをもっていけるまちづくりを推進します。

【略歴】

- 昭和27年、昭和32年生まれ、和歌山県和歌山市出身、南相馬市移住、南相馬市に定住。
- 1年間の米国およびカナダで駐在経験。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。
- 南相馬市議会議員(4期、2期)。



駆け付けける！現場第一主義！

としまね


住みやすい南相馬市の前進に全力！！
生活に密着、皆さまの身近なところから働きます。

【公約】

1. 産業・商業の担い手の育成と支援
2. 地域を支える地元中小企業・小規模事業者の支援
3. 将来を見据えた水産資源と漁業基盤の整備・支援
4. 医療施設、買い物などに広く利用できる高齢者の交通手段を支援
5. 老人ホーム等をはじめ福祉施設の充実
6. 地域全体で支え合う社会環境の整備
7. 消防・防災機能の強化
8. 被災地域の生活基盤の復旧・整備促進
9. 常磐道4車線化促進、常磐線特急東京間の時間短縮

【経歴】

- 元鹿島町議会議員(4期)
- 元南相馬市議会議員(4期)
- 元南相馬市議会議員(4期)
- 元南相馬市議会議員(4期)



ほそだひろし

昭和25年6月10日生まれ、農業者


三つの安心の実現

高齢者にゆとりと安心を
・高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり
・高齡者や障がい者の仲間同士が楽しく、豊かにゆとりある生活環境を実現する。
・老々介護等の問題や、医療の充実等に真摯に取り組んだ政策を提言・実行する。

若者が希望と活力を
・若者が故郷で働き安心して暮らせるまちづくり
・ロボットテストフィールドの復興工業団地や工業団地の造成と、フロンティアパークに多くの企業の誘致を実現し、若者の働く環境を整え将来に希望をもてる明るい生活環境を実現する。

子供たちの将来に夢を
・子供の健康と学びの充実に安心して暮らせるまちづくり
・南相馬市のごども達が、元気以外で遊び体力増進を図る環境を整え、健康と学力向上のために学びの環境を充実させる政策を提言・実行する。

みんなで創る夢と希望のある住みよい南相馬市



おおいわ 大岩つねお

昭和40年、大分県大分市生まれ、南相馬市移住、南相馬市に定住。
南相馬市議会議員(2期、1期)

いのちと暮らしを守り、未来を築く

東日本大震災と原発事故で人口減少と少子高齢化が進み、新型コロナ感染拡大で南相馬市の元気が活力が減少しています。市民のいのちと暮らしを守り、元気の南相馬市を取り戻すために全力で取り組んでまいります。

- 子育て・教育支援で人づくり
- 医療・福祉・介護支援で安心づくり
- 経済産業支援で元気なまちづくり
- 災害対応にすぐれた安全なまちづくり
- いきいきとした暮らしのために
- 行財政改革で市民のための市役所に
- 議会の活性化をはかります


さくらい かつぶ 勝延

南相馬市原町区大字字十日谷4番地(プロフィール)
1966年 1月4日生まれ(第65歳)
1974年 原町高校卒業
1979年 岩手大学工学部卒業
2003年-南相馬市議会議員(1期)
2009年-南相馬市議会議員(2期)
2010年-2019年 南相馬市長(2期)

投票用紙には **さくらい** と、お願いいたします

原町区・鹿島区・小高区と分け隔てなく **市民の声をよく聞き「無駄のない」「隠し事の無い」**
今日お休み明日、明日お休みも明後日へと、**より良い新しい南相馬市を築く！！**

- 1 **高齢者が安心して元気に過ごせるように！！**
医療・看護・介護福祉士の確保と、病院・介護施設等の拡充をめざします
○「ワークロード・トレーニングセンター」等の確保、実務指導体制の充実によるフレイル(隠れ予防)対策
○高齢者・障がい者など「交通弱者」の過渡期、買物への交通システム、また災害時の避難支援システムの構築
○在宅介護・地域包括システムの強化
- 2 **子育て・教育環境整備をめざして！！**
児童・生徒が健全に育つための環境整備を推進させます
○保育士・幼稚園教諭の確保に向けた支援体制の整備
○外語・スポーツ・音楽などに特化した教育環境、高等教育が受けられる環境整備
○休日・時間外など多様なニーズに応えられる受入れ環境整備
- 3 **地域経済の活性化に向けて！！**
「商工業者が元気でない」まちはあるべき、との考えから、
○人口の維持・交流人口の拡大・観光誘客、企業誘致に努めます
○移住・定住促進への制度構築、情報発信の強化を図り「働く人」を増やす
○相馬野馬追・北原海浜総合公園などを活かした「1周年観光事業」の提案
○福島ロボットテストフィールド・国際研究教育機構を活かした企業誘致促進により「働く場所」を増やす
また地元企業と進出企業との連携強化を図る



ひろあき 大場 ひろあき

昭和40年、大分県大分市生まれ、南相馬市移住、南相馬市に定住。
南相馬市議会議員(2期、1期)

この地に住み続けて良かったの、声が聞けるまで


田中いっせい、みなさまの声を届ける行動します。

暮らしやすいまち
●「明るい町並み」「広い道路」「安全な行動が出来る、ゆとりある生活環境」を「買い出しや送迎など」生活に必要な様々なサービスが十分に利用しやすくなるまで。

「こころと体がやすらぐまち」
●教育環境の向上・並行しての市民参加の推進
●新型コロナ対策として「心のケア」の徹底
●「心のケア」を大切にする「福祉」の推進
●自治体間の連携・共助を推進し、災害に対する安心を

市民の声が届くまち
●みなさまの苦しみや悩みの声を解決出来る、かけがえのない「暮らし」を推進する。南相馬市市民生活調査会に積極的に参加し、提供される南相馬市情を把握する。

プロフィール
住所 原町区下太田字松崎 平成16年より南相馬市議会議員4期
昭和40年 太田小学校卒業 総務委員会委員長
昭和42年 南相馬第三中学校卒業 広報委員会委員長
昭和44年 南相馬第三中学校卒業 広報委員会委員長
昭和46年 南相馬第三中学校卒業 広報委員会委員長
南相馬市議会議員(2期、1期)



たなか 田中いっせい

南相馬市議会議員一般選挙の投票日は11月20日(日)です

投票時間 午前7時から午後6時まで

福島 希望 (ふくしまのぞみ)



みんなの一票大切に！

(この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。)

令和4年 11月 20日執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

平田 たいけし (73歳)

防災と減災のまちづくりに向けて

異常気象への対応、ロシアのウクライナへの侵襲、中国、北朝鮮のミサイル脅威。そしてコロナ感染症が世界中に広がること、あらゆる面で備は必要と考えます。また円高による市民生活への配慮に努めます。

急激な社会変化の対応について

一、365日安全・安心なまちづくり
昨今のロシアのウクライナ侵襲、北朝鮮、中国のミサイル脅威、コロナ感染症への対応、異常気象への備えと体制作りを努めます。

二、少子化、高齢化への対応について
結婚が出来る社会づくりを努めます。団塊世代が高齢化に突っ込んでおり、介護の工夫に努めます。

三、教育の充実に向けて
公立小、中学校の統廃合に努め、教育環境の充実に努めます。

四、人流を促すために
海山交流や姉妹都市交流に努めます。

五、農業政策について
肥料、農薬の高騰に対応し、本市の特産物の発掘に努めます。国の開道した農業政策について修正を促すよう努めます。

六、商工業の進展について
ロボット、スマートフォン、タブレット及び小高スマートフォンを活用した産業の創出に努めます。

ふるさと南相馬のためにはたらきます！

主要な取組

- 農** 業の活性化に取り組みます
 - 強い農産物産地づくり
 - 農産物のブランド化
- 魅** 力ある観光づくりに取り組みます
 - 北東海岸・グリーンパークの整備
 - 泉宮街道跡の整備
- 災** 害に強いまちづくりに取り組みます
 - 社会資本整備の充実
 - 災害に備えた平時の体制整備
- 教** 育の充実に取り組みます
 - 学力向上
 - 教育環境の充実

私達にとってスマートフォンを始めとするモバイルは日常生活にとても欠かせません。ICT(情報通信技術)は行政にとっても欠かせないものです。感染症、防災、人口減少、医療・介護、教育、子育て、農林水産業、商工業、地域コミュニティ、自治体DX等、市が山積する課題をICT活用で解決するよう全身全霊で取り組んで参ります。

よういち きくち 洋一

プロフィール
 ◆昭和34年生まれ(63歳)
 ◆法政大学経済学部卒業
 ◆元山形県立中央高等学校 教諭(現職) 山形県立中央高等学校 教諭(現職)
 ◆南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)
 ◆南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)
 ◆南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)
 ◆南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)

山田 雅彦 (58歳)

豊かで温かい南相馬市を皆さんと一緒に

南相馬のいまとこれからを見据え、南相馬の今のために ●歳入増進と歳出削減 ●歳入増進 ●歳入増進

これからの南相馬市のために

交通網の整備
 通学・通勤は、日本の生活や経済活動に重要で、中通、いわき、仙台に1時間圏で移動できる交通網の整備が必要です。

- ①国道6号線の4車線化(又はバイパス化)
- ②常磐自動車道の4車線化
- ③県道原町川原線の更なる改良

子育て・福祉環境の充実
 少子高齢化社会に直面しています。すべての世代が安心して生活できる環境とすることが必要です。

- ①高齢化社会を安心して生活できる環境づくり
- ②子育て環境の充実
- ③地域医療の確立
- ④魅力を感じる職種の誘致

教育環境の充実
 授業を担う一人ひとりの子どもたちの夢を持つ一つでも多く実現するための教育環境の充実が必要で、

- ①課題解決能力向上につながる教育の推進
- ②家庭、地域、学校における教育力の向上

持続可能な財政運営の確立
 高齢化と少子化、歳入が減少しても、これまでと同じように財政を確保することが必要です。

- ①所得水準の引き上げ
- ②税負担と行政サービスのバランスの維持
- ③行政サービスの在り方の検討
- ④市政全体を踏まえた予算の執行

支え合い安心できる協働のまちづくり

市民が元気に笑顔で暮らせるまち

誰もが安心して暮らせる南相馬市を築くため、市民が元気に暮らせる「支え合いのまち」を。今はこの目標に向けて歩む必要があり、その歩みを進めます。そして、市民が安心して暮らせる南相馬市を築くことが必要です。

田中京子は目指します

無所属 田中京子 (65歳)

支え合い心豊かなまちづくり
 ・子どもが主役のまちづくり
 ・高齢者、障がい者の方々が生き生き活動できる居場所づくり
 ・協働のまちづくり

私のこれからの取り組み
 ・強い農業への挑戦を継続
 ・地産地消の推進を継続
 ・農業6次産業化推進への継続
 ・女性活躍の場の拡充に努める

安心安全な環境のまち
 ・食の安心安全の継続
 ・放射能モニタリングの継続
 ・防災対策の強化に努める

プロフィール
 昭和29年生まれ(65歳)
 昭和51年11月南相馬市(当時)に転居
 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)
 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)
 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)
 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職) 南相馬市立中央高等学校 教諭(現職)

みんなで実現！誰もが住みよいまち「南相馬」へ

I 活力を感じる街づくり

1. まちなか居住の推進と、中心市街地の賑わいの創出
2. 地産地消、販路拡大の確保及び6次産業の推進による農業の振興
3. 公共事業における市内事業所との優先契約
4. 新規産業の誘致及び雇用創出
5. 相馬野馬道を中心とした観光資源による交流人口の拡大

II 安心安全な地域づくり

1. 地域自治及びコミュニティの振興
2. 3世代同居、近居の推進
3. 健康寿命の延伸
4. 災害に強い地域づくり

III 次世代を担う人づくり

1. 子育て世代にやさしいまちづくり
2. 各産業における技能、技術を学ぶ機会の増加
3. 教職員が学習指導に専念できる条件整備
4. すべての年齢に対応した社会教育の充実

【議会での活動】
 議員会派代表委員 議員会派代表委員 議員会派代表委員
 議員会派代表委員 議員会派代表委員 議員会派代表委員
 議員会派代表委員 議員会派代表委員 議員会派代表委員

高橋まこと (65歳)

南相馬市議会にウーマンパワーで新しい風を！

1. 災害時の市の対応・市民の選擧を確かなものに
 高齢化が進み、災害時の地域の選擧と見直しが必要とされています。現状を再調査し、災害時の選擧を確かなものにします。災害時の市の対応を「市民に寄り添う対応」へと要望します。
2. 子育て支援拡充
 ・幼少期から高等学校卒業までの教育支援
 ・移動図書館の充実(増台、移動場所の増設等)、病児保育等
 子育て経験者として、子育て世代の声と市議会へ届けます。
3. 健康寿命が誇れる街へ環境整備
 市内(文化・スポーツ)施設の活性化等も検討し、全世代が元気に暮らせる環境整備を行います。
4. 産業発展と継承
5. 安定した医療環境の整備

市民の皆さんの声に活動します！

島 ゆづき

投票日に冠婚葬祭、レジャー等で投票所に行くことが困難と見込まれる方は、「期日前投票」をご利用ください。

期日前投票期間 11月14日(月)～11月19日(土)

期日前投票所と投票時間

- 原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」
午前8時30分～午後6時
- 道の駅「南相馬」(ホール) 午前9時30分～午後7時
- ヨークベニマル原町西店 午前9時30分～午後7時
- 小高区役所(1階会議室) 午前9時30分～午後7時
- 南相馬ジャスモール(催事ホール) 午前10時30分～午後8時
- 鹿島区役所(北会議室) 午前9時30分～午後7時

どの投票所でも投票できます。投票できる時間が異なりますのでご注意ください。

南相馬市選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。)

令和4年 11月 20日 執行

南相馬市議会議員一般選挙公報

南相馬市選挙管理委員会

●海にはトリチウム、山にはセシウム

全市民の医療保障は当然!

●市面積半分の山林は、野放し「最終処分場」 ●子ども甲状腺がん280人手術・成人も増加

推薦 人生で失ってから最も後悔するのは「健康」である。福一事故により、皆さんは世界一被曝を余儀無くされており、長期的な健康被害が心配されています。しかし、原子力推進勢力による嘘だらけの「安全神話」が振りまかれ、多くは催眠術に罹っています。被ばく健康被害の本態は、放射性微粒子が体内に取り込まれる内部被曝。深刻なため、1943年から米国は軍事機密扱いとし隠蔽する歴史となりました。こうした中、大山弘一氏は事故後、町中の汚染状況を調査した。科学的に極めてまともな思考と知識を持った人だからこそ、インチキをしっかりと見抜き、市民健康を守る政策の中心で従事してもらいたく、強く推薦いたします。

北海道がんセンター 名誉院長 西尾 正道



いちばん最優先
大山こういち
チエルンブイリ医療視察団

ここに住んでいてよかった、これからも住み続けたい南相馬市に!



おかざき義典
(48歳)

- 安定的な医療の提供
 - ①市立病院の役割を明確にした上で、民間・市立それぞれの特性を活かした地域医療連携の体制づくりを推進
 - ②自らの経験を積み重ね「医療経営士」の資格取得
- 防災まちづくり
 - ①令和3年度で終了した防災士の養成再開を求める
 - ②公共施設に防災井戸を設置し災害時の水確保確保を推進
 - ③災害時にペットと同行避難でも環境整備を求める
- 子育てしやすいまち
 - ①育児保育の早期の実現を強く求める
 - ②未だ子育て世帯の1人としてファミリーサポート事業の普及に協力
- 健康に暮らせるまち
 - ①メタバボ率が高いことから、生活習慣病予防策を推進
- 空き家・空き地への対策
 - ①空き家の解体撤去費用の一部補助制度の実現を求める
 - ②原発事故が要因の空き家は、国と東京電力が期日を設定することなく対応するよう求める
- 健全な財政運営
 - ①事業の効果を検証した上で、廃止・廃止の判断を行い、メリハリのある予算編成になるよう監視

70億円のお金 議会と相談し、住民の声を聞きながら 決めるあり方に市政を変えます

下は、市のホームページ「パブリックコメント等」の結果から

平成28年からタラシテラビ事業の繰上りをして、新庁舎建設に回したということはありません。

また、上記とは別に合併特例債の枠について広域のごみ処理施設の建設費70億円負担することが新庁舎建設計画に記載されておりましたが、相馬市と新南相馬市に建設したことで食料品廃棄物処理施設に余裕ができて、使用状況も極めて新庁舎建設費用が繰り込まれると判断いたしました。農協の事業をやめて新庁舎建設に回したということも事実とは異なります。

新南相馬市は合併後、70億円の繰上りをして、新庁舎建設に回したということはありません。

新南相馬市は合併後、70億円の繰上りをして、新庁舎建設に回したということはありません。



「建設費の削減」も「ネット」で見えてきた
こおり俊彦

渡部いっぷ

の未来への責任

原発事故後の復興度を測る「ものさし」は人口構成です
人口構成をあるべき姿に戻す政策を求めてゆきます

1. 原発被害の完全賠償の実現
2. 新たな雇用創出
3. 豊かな生活環境の構築
4. 医療と福祉の再生で安心して暮らせるまちを
5. 復興進捗状況の検証



わたなべ
渡部いっぷ

出来ないことを望むより 出来ることを確実に積み上げます!!

皆さんの笑顔を取り戻すため頑張ります

不可能の反対は可能でなく挑戦です

見る気で見る。聞く気で聞く。本気でやる。

安心

- ◆医療・福祉・介護・年金制度の充実
- ◆出産・子育てから老後まで、暮らしを守る全世代型ソーシャルネットの構築
- ◆新型コロナウイルス対策の徹底
- ◆人口減少・少子高齢化対策
- ◆防災・減災対策の充実

笑顔

- ◆山・川・海。豊かな自然や地域の特色を活かした観光づくり
- ◆居住・定住の促進と流入人口の拡大
- ◆高齢者・若年層への交流
- ◆県民に寄り添った風土対策
- ◆ICT活用による学びの推進
- ◆伝統文化を守り「南相馬らしさ」の継承・継承

輝き

- ◆復興をベースに新しい南相馬の創生
- ◆企業誘致・働く場の確保
- ◆工業を軸とした産業振興の推進
- ◆農業・林業・水産業の再生
- ◆中小企業で培われた技術を世界ブランドに
- ◆ロボット等、新産業の創出



いまむら
今村ゆたか

【私のモットー】 地方議会には与野党野党、市長派や反市長派はいる。正にオール市民的な立場で大いに議論し、市民利益になる結論を導き出したなら、全議員が一丸となって前に進めていくことが大切! ということです。まして議員の下に市民がいるのではなく、市民の下働きをするのが議員本来の姿であるべきです。私はこれからも、子供たちが夢を持ち、若者が希望を持ち、お年寄りたちが安心をもち、社会づくりのために邁進していきたく存じます。

市民一人ひとりが主人公の市政

栗村文夫は、都会と地方、そして民間企業と自治体、その両方を経験してきました。そのことが、新しい視点と発想で政策立案に生かす力となっています。

平和な世界の実現を!

憲法九条を守り、物価高騰対策として、消費税率の5%減税を求めます!

CO2削減をすすめます!

気候危機への対応、ドアトドアのデマンドタクシーを復活し市内全域に!

更に充実させます!

鳥獣対策の制度拡充と荒廃地等の対策を図ります!

移住定住・子育て支援を、更に充実させます!

福島対策の拡充で、新型コロナ感染症の収束を!

福祉施策の充実と介護職員の処遇改善を図ります!

認めた社会を目指します!

福島再稼働と新増設反対!

汚染水海洋放出ストップ!

4年間の定例会議を全16回において毎回16回122項目の一般質問の確かな実績



くりむらふみお
栗村文夫
日本共産党

栗村文夫プロフィール
原町出身、原町高校、関東学院大学経済学部、同大学経済学専攻卒業。2013年に帰郷。福島県臨時職員、南相馬市任期付職員を経て、2018年12月より南相馬市議会議員。現在、建設経済常任副委員長、議会改革検討特別委員、広報特別委員、予算決算常任委員等。

南相馬市議会議員一般選挙の

投票日は11月20日(日)です



投票時間 午前7時から 午後6時まで

(この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。)